

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0395
施設名	光明第六保育園
施設所在地	あきる野市留原50
法人名	社会福祉法人多摩養育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

【自然】華道

- ・季節の移ろいを感じる
- ・草花の名前を知り、心豊かに表現することを楽しむ
- ・花に触れ、美しさや形状の違いに気づき感性を豊かにする
- ・命を育む心を育てる

<テーマの設定理由>

『華道（花）』という身近な自然との関りを通して、命の大切さに気づき、思いやりの心や豊かな感性を育むため、本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

- ①自然豊かな園周辺の環境を利用して、戸外活動や散歩を通して季節の草花に触れる機会を設ける。
- ②草花の名前を知り、興味や関心を広げる。
- ③華道の活動を通し、実際に花材に触れることで美しさや形の違いに気づく。
- ④ドライフラワーを作り、命の大切さを知る。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ①導入・事前準備。
- ②季節の草花図鑑・季節の花や花材の準備
- ③散策しやすい安全な戸外環境の確認と準備
- ④作品を飾るスペースの確保

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・季節の花や枝物に実際に触れ、名前や特徴に親しむ。
- ・花の色や形に、香りを感じながら観察する。
- ・保育者の手本を見ながら生け方を知る。
- ・自分なりに花の向きや長さを考えながら生ける。
- ・完成した作品を飾り、友達との違いや良さに気づく。
- ・花に触れる中で、優しく扱う気持ちや命の大切さに気づく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・花の名前を覚え散歩の途中で「これチューリップだね」「ポインセチアだね」「いい臭いの水仙だ」と言葉にする姿が見られるようになった。
- ・「春のお花だね」「なんてんは冬に赤い実がなるんだよね」と季節のつながりを意識する言葉が増えた。
- ・ドライフラワー作りでは「いつ完成するのか」「パサパサにならないとダメなんだよ」「エアコンの前に置こう」と友達と乾かす場所を工夫していた。
- ・お花を飾った後は「水がないと枯れちゃうよ」「喉が渴いたって言うてるから、たくさん水をあげたんだ」とすすんでお世話をする子の姿がみられた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

実際に花や枝物に触れる経験を通して、子どもたちの興味や関心が深まった。最初は関心の薄かった子も、回を重ねるごとに興味や意欲の変化がみられるようになり、これは年間通して継続的に取り組んできた成果であると考えられる。また、名前を覚えることで、主体的に関わろうとする姿がみられ、飾った後も花や自然物を大切にする優しさが育った。丁寧に取り組む様子から、自然物を通して、命の大切さを伝えることができたと感じた。『華道』を通して、子どもの気づきや学びを広げる経験ができたと再認識した。